

蟹座ラグナ

トリコーナ	ケンドラ ウパチャヤ	トリシャダ ウパチャヤ	トウシュタナ 敏感な中立
ドウシュタナ 敏感な中立	蟹座ラグナ		Asc トリコーナ ケンドラ
ケンドラ マラカ			敏感な中立 マラカ
ドウシュタナ トリシャダ ウパチャヤ	トリコーナ	ケンドラ	トリシャダ ウパチャヤ

機能的吉星	火星、木星
機能的凶星	金星、水星
中立	
マラカ	土星、他の凶星
備考	火星が一番良いラージャヨーガカラカである

蟹座ラグナ、そして、獅子座ラグナも同様ですが、7室の支配星がラグナの支配星の月や太陽の敵対惑星である土星で、しかも生来的凶星であるため、蟹座ラグナ、獅子座ラグナの人は、結婚、パートナー関係に問題が生じやすいと言えます。

木星はグルの表示体であり、9室の支配星で2重にグル（教師）を表わしているため、木星の象意は精神的な特徴をもち、奉仕精神に結びつきます。

その木星は蟹座で高揚する為、教師の教えを素直に自己実現に生かしていく配置です。

仏陀が蟹座ラグナですが、仏陀は教師を求め、教師の修行方法（メソッド）を試し、苦行も実践するというように教師の教えを自らの悟りを求める実践に素直に生かす生涯だったと思われるが、最終的に苦行は間違いだと気づいて中止するなど教師に敵対（6室）する姿勢も見せています。

9室の支配星が同時に6室も支配するため、レベルの低い、教わる価値の低い教師（例えば苦行を勧めるような-6室）にも出会うことを表わしています。

9室支配の木星が6室でムーラトリコーナとなり強いので、それなりの実力を持ったグルですが、最終的に別離（6室）に結びつくのです。そうして、仏陀はグルに教えを請いつつも、最終的には自分で悟

りを開きました。

そもそも6室を支配する教師とは部下、従業員など自分より目下の存在であることを示します。従って、自分よりも実力が下の教師を意味していると考えられます。

考えてみると、蟹の甲羅というものは外部の他者との接触をハードにするものですが、7室を支配するのが土星であることが示していると思われます。

一方で、蟹の強力なハサミは外敵と戦うためのハサミであり、5、10室支配の暴力の表示体である火星が表わしていると思われます。

Edited by Kanteiyo